

EU Indicators

発表日: 2019年11月22日(金)

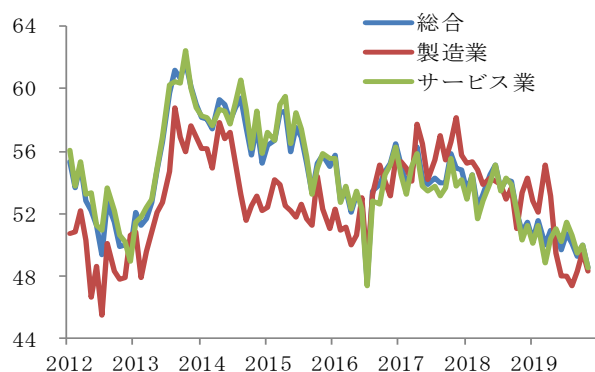
欧州経済指標コメント: 11月英国PMI速報

～国民投票以来の落ち込み～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- 英国のPMIは従来、当該月の翌月初に製造業、サービス業、建設業の指数がそれぞれ別の日に公表されてきたが、今月からユーロ圏のPMIと同様に当該月の下旬を目途に製造業とサービス業で構成される速報値が公表されることとなった。速報値の回答企業のカバレッジは80～90%。
- 11月の英国の総合PMIの速報値は、前月から▲1.5ポイント低下の48.5と、国民投票直後の2016年7月値(47.6)以来の水準に低下した。内訳は、製造業PMIが前月から▲1.3ポイント低下の48.3、サービス業PMI(活動指数)が前月から▲1.4ポイント低下の48.6と、揃って好不況の分岐点である50を下回った。
- 製造業PMIの構成5項目のなかでは、生産、雇用、在庫、入荷遅延(逆符号)が前月から低下した一方、新規受注が僅かに改善。在庫の大幅低下は、10月末の離脱期限(当時)に備えた在庫積み増しの反動減で、今月の製造業の悪化はやや割り引いてみる必要がある。ただ、10月値は逆に在庫が押し上げに寄与しており、製造業の業況は過去数ヶ月ほぼ同水準での低調推移が続いているものと判断される。輸出受注が10月に大きく改善、11月に大きく低下しているが、こちらも合意なき離脱に備えた在庫確保の動きを反映したものとみられる。サービス業活動も全般に低調で、新規受注は2009年の景気後退期以来の水準に悪化。ブレグジットと総選挙の行方を巡る不透明感が製造業・サービス業を問わず、経済活動の重石となっている。

■英国: PMI 総合



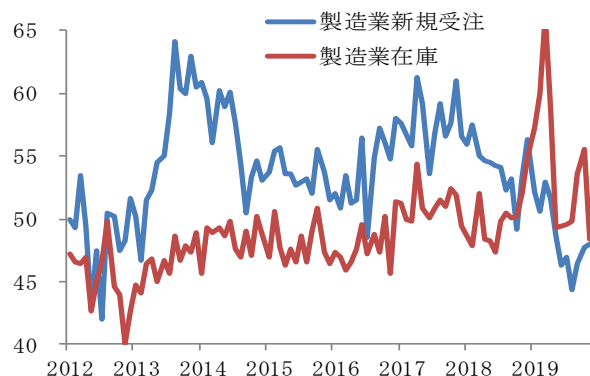
出所: IHS Markit

■英国のPMI指数(季節調整済み)

		2018				2019										
		4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
英国	総合PMI	51.4	50.6	50.5	50.1	51.5	50.0	50.9	50.9	49.7	50.7	50.2	49.3	50.0	48.5	
	製造業PMI指数	52.9	53.3	50.2	47.9	52.1	55.1	53.1	49.4	48.0	48.0	47.4	48.3	49.6	48.3	
	サービス業PMI指数	51.3	50.1	50.5	50.5	51.3	48.9	50.4	51.0	50.2	51.4	50.6	49.5	50.0	48.6	
	建設業PMI	53.1	50.0	47.4	44.5	49.5	49.7	50.5	48.6	43.1	45.3	45.0	43.3	44.2	-	

出所: IHS Markit

■英国: 製造業PMIの受注・在庫



出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

